

第7次舞鶴市総合計画に基づき、まちづくりの方向性を市の取り組みの施策・事業をお伝えする「市政の今」。今回は、SDGsと高等教育機関等との連携についてお知らせします。



SDGs未来都市

# 次代のSDGsを担う 高校生・高専生の取り組み

## 高等教育機関等との連携

本市には、高等学校をはじめ専門学校や研究機関、国の教育訓練機関など、特色ある多様な学校が所在しています。それぞれの学校は教育・研究機能だけでなく、産業や医療、福祉、文化、スポーツなど地域社会のさまざまな活動と深い関わりがあり、地域振興に大きく寄与しています。

現在、市内の高校生・高専生は、授業やクラブ活動を通じて、持続可能な食料供給や商店街振興、海ごみの問題、地球温暖化問題などを題材にした研究活動やフィールドワークに精力的に取り組んでいます。

**次代の担い手連携フォーラム**  
SDGs(※)の推進にあたっては、行政や企業、学校などのSDGsに関する取り組みを共有し、持続可能なまちづくりの大切さをそれぞれが理解する機会を

設けることが重要です。8月には、市内外で取り組まれているさまざまなSDGsの活動に対する理解と産官学の垣根を越えた交流を深めることを目的に「担い手連携フォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、市長から市が進めるSDGsの取り組みを説明したほか、舞鶴市の取り組みに賛同いただいた企業にも参加してもらい、それぞれの企業が取り組むSDGsの事例を発表するとともに企業ブースで高校生・高専生と交流を深めました。さらには高校生・高専生からも研究活動を発表し、参加者からは「それぞれの活動を知る機会がなかったため、こうした交流の場づくりは大変重要な取り組みだ」との感想をいただきました。

こうした取り組みを通じて、行政・企業・学校の連携を活性化させることで、行動が積み重なり、点であった取り組みが線となり、



上左右)「舞鶴」担い手連携フォーラムの様子

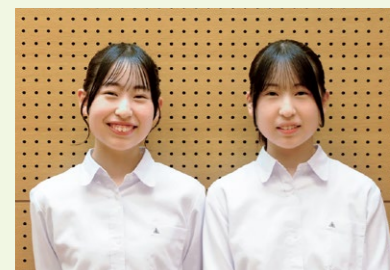
※SDGs…「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年の国連サミットで、日本を含む193の加盟国の全会一致で採択された「世界を変えるための17の目標」

## 各高校の発表内容

### インタビュー 高校生's EYE

8月8日に開催された「舞鶴」担い手連携フォーラムでは各高校・高専の代表の発表者が自分の学校の取り組みや活性化案を発表。

フォーラムの発表者で、フェアトレード(※)と温室効果ガスゼロの取り組みについて発表した西舞鶴高校の村田奈々香さん(左)、村田萌々香さん(右)に話を伺いました。



Q:フォーラムに参加してどうでしたか?

萌々香:自分たちは授業で調べた内容で発表しましたが、他の高校生は自発的に興味を持ったり部活動で調べたり意欲的だったので、良い刺激がもらえました。

奈々香:私は、西高の近くにマナイ商店街があるのに、今日のプレゼンで初めて知った取り組みがあり、意外と自分たちの身近で活動していることがあるのだと、自分も何かしたいと思いました。

萌々香、奈々香:こうした機会は他の高校の取り組みを知ることや知識を広げる機会になるので今後も続けてほしいと思います。

Q:今後どんなことがあれば舞鶴が良くなると思いますか?

萌々香:1人だと参加しにくいイベントとか、高校生は参加しにくいイベントがあるので、年齢とか職業に関係なく参加できるボランティア活動とかあれば参加したいと思います。

奈々香:一つの高校だけだと規模が小さくなって反応してくれる人も少なくなってしまうので、今日集まっている高校とか、全部集めて同じような活動をして舞鶴を盛り上げられたら良いと思います。

※フェアトレード…貧困のない公正な社会を作るために途上国の生産者と先進国の消費者が対等な立場で行う貿易のこと

3 これからの活動

舞鶴の農作物が未来に受け継がれるために

#### 東舞鶴高校

3年生の大橋史佳さん、2年生の近藤涼介さんが杉山地区でのフィールドワークを通じた持続可能な農業について発表

#### 日星高校

3年生の築谷みゆさん、吉野菜由さんが引揚記念館での学生語り部の取り組みやマナイ商店街再興プロジェクトなどについて発表

マナイ商店街再興プロジェクト

今や「廃れた商店街」と言えるマナイ商店街に昔のような活気を取り戻すための活動。

～活動内容～

- ①聞き込み調査
- ②フィールドワーク
- ③イベント開催 2021/11/14(日)  
「マナイ商店街魅力発見&トークセッション」
- ④PR動画制作「素敵なマナイ、伸びゆくマナイ」

港から発展するまち

ニーズ

- ① 西舞鶴の魅力伝える施設
- ② 大野辺緑地から西舞鶴各地につながる人のながれ
- ③ 誰もが楽しめるもの

目指すゴール

- ✓ 提案施設を中心とした観光業の発展
- ✓ 舞鶴に働く場が増える
- ✓ 持続的な経済の発展

#### 舞鶴高専

5年生の新谷歩夢さん、下郡季さん、4年生の貫井かなさん、石原有佑子さんがみなどオアシスにおける大野辺緑地周辺の整備・活用の検討などについて発表



株式会社伊藤商店  
代表取締役社長  
**伊藤 博永** さん

### Voice 企業 の 声 フォーラム参加

伊藤商店はステンレス、アルミ、銅などのいわゆる非鉄金属関係を京都市内から舞鶴国際ふ頭を通じて海外に輸出しており、これからさらに取引量を増やして、舞鶴発展の一助になればと思っています。数年前までは別の港から輸出しており、舞鶴と接点はほとんどなかったのですが、今ではほぼ全量を舞鶴から出荷しています。それは舞鶴が、人を大事にするまちというのが理由の一つです。引揚記念館を見学し、人を大事にする舞鶴の人々の心は今も脈々と受け継がれていることを知り感動しました。人を、そして地球を大事にするのはSDGsの基本理念です。高校生・高専生は次世代の舞鶴の主演です。一緒に舞鶴を盛り上げていきましょう。

やがて面になって、さらに大きな取り組みに広がっていくことを期待しています。今後も、学校の活性化は地域の

活性化につながるという認識のもと、高等教育機関等との連携を加速させ、元気で持続可能なまちづくりを進めていきます。